

桐林 熱

[2018年度卒業／70回生]

武蔵野美術大学

造形学部 映像学科在籍

2000年 広島県出身

2019年 武蔵野美術大学入学

現在 武蔵野美術大学映像学科で様々な映像表現を学びつつ、主にアニメーションを制作している。

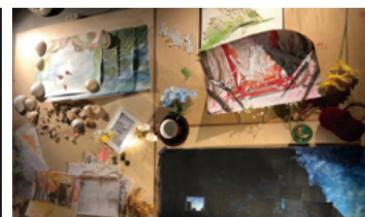
才能の発見は、まず手を動かすことから始まる

4年前まだ中学生だった私は具体的に何がしたいのかはわからず、ただ美術の才能を磨きたいというぼんやりとした思いから基町高校の創造表現コースに志望しました。そんな私が高校生活の中で心に決めていたのは、知らないことから積極的に体験していくこと、そして自分に言い訳をしないことでした。「難しそうだから、自分にはそんな才能はないから」と決めつけず、なんとなくやってみたいと心に浮かんだ時にはすぐに挑戦する。

こうして私は自分の新しい才能を多く見つけることができました。現在私は武蔵野美術大学の映像学科で様々な映像表現を学びつつ、自分だけの表現方法を模索しています。そしてこれまでの短い大学生活の中でも、高校の三年間で培ったものが役に立たなかったことはありません。経験したこと、築いた縁のひとつひとつが、今の私の作品を形作っています。創表で過ごした3年間は、私にとってかけがえのない財産です。



黒板を使ったアニメーションの撮影風景



四季をテーマにしたアニメーション作品、
タイトル「white film」



AfterEffectsを使ったロボットアニメーションの制作画面